2022-2023年度 RIテーマ IMAGINE ROTARY

2022-23 RID2730

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

Vol.8
2
2023

マングローブの苗木を植える
フィジーのロータリアン

2022-2023年度
ガバナー月信

【今月の見どころ】

★ガバナーメッセージ

★ガバナー公式訪問報告

★委員会活動報告

★クラブ活動報告　etc

2月は平和と紛争予防月間です！

Rotary
第2730地区

山ノ内文治ガバナー事務所
〒885-0072 宮崎県都城市上町8-9 メインホテル4F
TEL 0986-36-6130 FAX 0986-36-6131
E-mail yamanouchi2730@alphanet.jp

Rotary

2022-23 RID2730

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2730地区

ガバナー月信 2月号

Contents

目　次

1P　ガバナーメッセージ

2P　ガバナー公式訪問報告

5P　インフォメーション

6P　委員会活動報告

8P　クラブ活動報告

10P　ハイライトよねやま

12P　12月の寄付金傾向

13P　会員数動向

ロータリーとは
基本理念

奉仕の理想
『Ideal of Service』

第一標語
超我の奉仕
『Service above Self』

第二標語
最もよく奉仕する者、最も多く報いられる
『One profits most who serves best』

4つのテスト The Four-Way Test

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

＜表紙画像について＞

9月に、ラウトカ・ロータリークラブの会員が地域ボランティアとともに、185平方メートル近いタイペリアの海岸線に4,000本以上のマングローブの苗木を植えました。低所得層が暮らすこの地域は、ラウトカ中心部から約4キロのヴィティ・レヴュー島にあります。「フィジーのような小さな島国にとって、家庭と生活を守ることは特に重要です。人口の大半が沿岸部の近くに住んでいます」と同クラブ会長のチラグ・パルマさんは言います。「マングローブの植栽は海岸の侵食から沿岸部を守り、海岸線の生態系を回復させるのに役立ちます。」同クラブは農林省と協力してこのプロジェクトを実施。寄付された130ドルの資金を使って植林地を購入しました。「スクーバダイビングの親睦活動グループから寄付された資金のごく一部を使用しました」とパルマさん。ロータリーのパートナーシップの力を物語るエピソードです。

ガバナーメッセージ

2022-2023年度　国際ロータリー第2730地区

ガバナー　**山ノ内文治**

Yamanouchi Fumiharu（鹿児島ロータリークラブ）

「イマジンロータリー」

RID2730ロータリアンの皆様こんにちは。

2月に入り、新型コロナウイルスの感染拡大は未だ収束の兆しが見えず、新たな変異株により多くの影響を与えることが心配されています。

また、米国や欧州各国による利上げなどの影響が続く中、円安が進行し32年振りに151円を付ける場面があり、物価上昇が続いており、日銀による金融緩和政策の見返しによって年末にかけ円高の動きに転じました。今年の経済は、ウィズコロナ対策や金融支援対策により全体的には回復基調と見込まれますが、金融及び経済環境は不確定性が高く、物価上昇による影響も続くと思われます。

さて今月は、平和構築と紛争予防／紛争解決月間です。2014年RI理事会は、2月を重点分野：「平和と紛争予防／紛争解決月間」としました。紛争予防と仲裁に関する若者（将来リーダーとなることが望まれる人）を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間です。

1965年2月23日はロータリーの創設者ポール・ハリスが友人3人と最初に会合を持った日でもあり、この2月23日を祝う創立記念日は「世界理解と平和の日」として順守されています。この日、各クラブは国際理解、友情、平和へのロータリーの献身と特に認め、強調しなければならないと定められています。しかし、国際情勢はロシア軍侵攻、またウクライナは試練の年明けとなりました。人道的問題となっている電力インフラへの攻撃で氷点下の厳しい寒さが続いています。ウクライナ政府は、電力が一時需要の半分までしか供給できなくなったと発表しています。国際社会の支援は、去年12月には欧米や日本など40以上の国が参加し国際会議がフランスで開かれ、発電機の供給やインフラ復旧などに1400億円の支援が表明されました。日本の支援も数々現地に届いています。

また、ロータリーでは仮設住宅、消防車、発電機等を支援しています。RID2730は「使い捨てカイロ」をウクライナのロータリークラブへ送ることにしています。

12月、日本が提供した発電機が集中暖房システムに設置され、停電中でも暖房を使えるようになっているそうです。ウクライナの戦場では今も消耗戦が続き、戦争の長期化が懸念されています。こうしている間も多くの人たちが厳しい寒さに耐えていることでしょう。一方的に侵略を受けているウクライナの人たちが望む以上、国際社会もその試練を支えていくことが必要だと思います。また我々ロータリアンも、もっと何か出来るか知恵を出し合い、平和構築と紛争予防を考え、一日も早く平和の訪れる日を作ってまいりましょう。

ガバナー公式訪問

・鹿児島県中部グループ
・鹿児島県東部グループ

加治木ロータリークラブ

公式訪問日 8月16日

同行者 下川一雄ガバナー補佐（霧島RC）
田口真奈未会員（鹿児島RC）

8月16日山ノ内ガバナーをお迎えしての公式訪問が開催されました。会長・幹事・会長エレクト懇談会では当クラブが20年以上取り組んでいる「台湾員林西南ロータリークラブとの青少年交流事業」の説明や、会員による「悩みごと相談会」などの説明をさせていただき、コロナ禍で地区補助金を交流事業に充てる予定が出来なくなり、その代わりに姶良市文化財の史跡看板の設置および修復に変更させて頂いた事をお話ししました。ガバナーアドレスでは今年のＲＩ会長テーマやガバナーの地区の基本方針・活動計画をわかりやすくご説明頂き、会員もより深く理解できました。当クラブが取り組んでいるリモートによる参加ができる例会も実際に確認いただけました。終始和やかな雰囲気の中、ご指導いただき深く感謝いたしております。

国分ロータリークラブ

公式訪問日 8月18日

同行者 下川一雄ガバナー補佐（霧島RC）
田口真奈未会員（鹿児島RC）

イマジンロータリーの私達がベストを尽くせる世界を基本に考えられておられ、女性の会員の増強に力を入れて行動したいと強調されました。目的意識をもって行動し、リーダーシップが発揮できるか、も問われています。また、ロータリーの奉仕を行ってきたことに光を当てることの推進も行っていきたい。国分ロータリーもこのような考えを継承し行動していきたいと感じました。

霧島ロータリークラブ

公式訪問日 8月25日

同行者 下川一雄ガバナー補佐（霧島RC）
笹山雄司会員（鹿児島RC）

8月25日、当クラブへの公式訪問ありがとうございました。ガバナーのご指導の中でロータリー財団からの色々な寄付をぜひ有効活用して活動してほしい、またロータリーの広報のイメージアップにも繋がるのでブランディングを活用してほしいとご指導を頂きました。今後は活用できるものは利用して、活動していきたいと思っております。旧知の間柄とはいえ、緊張の中にも和気あいあいとして、たくさんのご指導助言を頂きありがとうございました。今年度も会員増強にも頑張っていきたいと思っております。

国分中央ロータリークラブ

公式訪問日 8月17日

同行者 下川一雄ガバナー補佐（霧島RC）
上原　文会員（鹿児島RC）

「イマジンロータリー」の掛け声の下、ガバナー公式訪問をさせていただきました。国分中央RCのメイン事業である「高校生・経営者の語る会」を褒めて下さり、コロナ禍ではありましたが、感染対策を十分に行い、これからも開催して行きたいと思いました。

又、ガバナーの自己紹介では趣味である、刀収集や火縄銃のコレクションなどがあると聞いて是非一度見てみたいと感じました。非常に楽しい時間を過ごさせて頂きありがとうございました。

姶良ロータリークラブ

公式訪問日 8月24日

同行者 下川一雄ガバナー補佐（霧島RC）
田口真奈未会員（鹿児島RC）

ガバナーのお話の端々にロータリーに抱いていらっしゃる熱情を感じました。

下川ガバナー補佐とのコンビネーションも良好に見受けられました。

補助金活用について大いに語られ、公共への活動なら、「周年記念」にも使えるとのご助言を頂戴いたしました。

鹿屋ロータリークラブ

公式訪問日 8月31日

同行者 上村雅彦ガバナー補佐（南九州大崎RC）
市坪孝志会員（鹿児島RC）

コロナ感染者が増えてきている中で公式訪問実施の不安もありましたが、100%例会の報告や新入会員の入会式等を行うことができました。和やかな雰囲気で意見を聞いていただき、様々な面でお褒めの言葉をかけてもらえたことで、その後のロータリー活動に積極的に取り組むことが出来ています。

会員増強等に力を注ぎながら伝統ある鹿屋ロータリークラブの発展のために努めて参りたいと思います。

串良ロータリークラブ

公式訪問日 8月29日

同行者 上村雅彦ガバナー補佐（南九州大崎RC）
吉永　浩会員（鹿児島RC）

日本刀のコレクション、火縄銃の収集、ジャズ鑑賞、レコード収集を始めとする多彩の趣味に驚くとともに、うらやましく感じました。ロータリーについて、自分を磨き、人を育てて、時に慈善行為、ボランティア活動を行う世界的団体である。今、ロータリーは、多様性を認め、柔軟な活動を容認する方向で変化しようとしていることを認め、同時に、ロータリーの職業奉仕の理念も大切にされている考え方に共感しました。

鹿屋西ロータリークラブ

公式訪問日 9月5日

同行者 上村雅彦ガバナー補佐（南九州大崎RC）
水淵大作会員（鹿児島RC）

ガバナーとの懇談会で当クラブのクラブ戦略計画を説明した際に、地域社会に貢献する奉仕活動を行ったときには、公共イメージを高めるための広報と地区補助金の有効活用をするようご指導いただきました。

ガバナーアドレスでは「イマジンロータリー」の意味や、多様性、公平さ、包摂さなどについて説明を頂き、学びを深めることが出来ました。フォーラムではクラブの課題と奉仕活動の取り組み発表を行い、的確なアドバイスを頂き大変有意義な公式訪問でした。

志布志ロータリークラブ

公式訪問日 11月1日

同行者 上村雅彦ガバナー補佐（南九州大崎RC）
是枝幸枝会員（鹿児島RC）

コロナ罹患者続出の影響で開催延期など大変ご迷惑をおかけしましたことを先ずもってお詫び申し上げます。山ノ内ガバナーの御人柄に接し、公式訪問は終始あたたかな時間で包まれました。今年度は「DEI」を軸とした自由討議を開催し、具体的意見が飛び交いました。中には志布志市との「包括連携協定」の内容にDEIを取り入れることが出来た事例も誕生しております。今後は「障害を持つ方々とのインクルーシブ社会」にも力を注ぎ、更に進化した包摂・共生を啓発します。

かのや東ロータリークラブ

公式訪問日 9月1日

同行者 上村雅彦ガバナー補佐（南九州大崎RC）
市坪孝志会員（鹿児島RC）

ガバナーより74年分の人生経験に基づく自己紹介があり、RIテーマ「イマジンロータリー」のリーダーシップの話、また「知力を高め　未来へ繋げ　多様性あるロータリークラブの実現に」について話されました。

当クラブの岩越会長エレクトが「クラブの強みと弱み」を、出井副会長が「わがクラブの奉仕活動への取り組み及び会員の意識について」と題して発表しました。

ガバナーの指導に基づき、より良いクラブ活動となるよう邁進して参ります。

きもつきロータリークラブ

公式訪問日 8月30日

同行者 上村雅彦ガバナー補佐（南九州大崎RC）
吉永　浩会員（鹿児島RC）

公式訪問にて多くを学ばせて頂きありがとうございました。ガバナーにはRI会長ジェニファー・ジョーンズ氏のメッセージを分かりやすく伝えて頂きました。きもつきクラブには女性会員はおりません。ぜひとも女性会員を増やしたいと思っております。また、クラブ戦略計画の立案と実行については、すぐに取組むべき課題ととらえました。会員全てが積極的に参加し、やりがいのあるロータリーライフを過ごしていきます。

南九州大崎ロータリークラブ

公式訪問日 9月1日

同行者 上村雅彦ガバナー補佐（南九州大崎RC）
市坪孝志会員（鹿児島RC）

令和4年9月1日に市坪会員（鹿児島R.C）の同行の元、山ノ内文治ガバナーをお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催できました。

上村東部グループガバナー補佐の進行にて会長、幹事、エレクトとの懇談会。クラブ近況報告では各委員長の立案した取り組み、例会内容に関心をいただき、鹿児島RCの取り組みも教えていただきました。

例会アドレスでは国内外のクラブと姉妹クラブ提携をし、その国（地域）を知る例会、インパクトある事業とロータリーマークをたくさんの方に見ていただける活動に期待しています、と激励もいただきました。

台風接近前の蒸し暑いなか、最後までご指導ご助言いただけましたこと心より感謝申し上げます。

志布志みなとロータリークラブ

公式訪問日 8月31日

同行者 上村雅彦ガバナー補佐（南九州大崎RC）
市坪孝志会員（鹿児島RC）

コロナ禍の中、山ノ内ガバナーには各クラブの公式訪問に加えRI地区のプログラムも精力的に消化されていらっしゃいます事に心より敬意を表したいと思います。膨大な資料の元、丁寧に沢山の御教受を頂きました。

先ず私共の課題から

①長期欠席者の対応、会員増強の対応については会長幹事自から動く。
②クラブ活動の各イベント行事にはロータリー旗、のぼりを揚げPRする　自己満足で終わらない。
③休会0を目標に！例会開催はコロナ感染対策をしっかり行ない出席率向上に継げる。
④地区でDEI委員会を立ち上げ会員にDEIの周知を行っていく。
⑤テーマに沿った二人の会員の発表では、新しい形式での発表で内容としては若い会員も多く活気のある内容と賛辞を頂いた。

山ノ内ガバナーも残り半年刻々と変革して行くロータリー！RIと地区を連携した事象など私共クラブ会員に沢山の御教受をお願いしたいと思います。どうぞ健康第一で益々精力的に！前向きに！職務を全とうされて下さい！

奄美ロータリークラブ
事務所移転及び例会場変更のお知らせ

当クラブの事務所及び例会場が下記の通りに1月23日より変更になりましたのでお知らせいたします。

※例会場は3月からの移転となります。（2月までは奄美山羊島ホテルにて開催）

新事務所：〒894-0033　鹿児島県奄美市矢之脇町30-1　ホテル　サンデイズ奄美　別館

※なお、電話・FAX・メールアドレスの変更はございません。

新例会場（３月より）：ホテル　サンデイズ奄美
〒894-0033　奄美市名瀬矢之脇町30-1　　電話 0997-53-5151

奄美中央ロータリークラブ
事務所移転及び例会場変更のお知らせ

当クラブの事務所及び例会場が下記の通りに1月26日より変更になりましたのでお知らせいたします。

※例会場は3月からの移転となります。（2月までは奄美山羊島ホテルにて開催）

新事務所：〒894-0033　鹿児島県奄美市名瀬矢之脇町30-1　ホテル　サンデイズ奄美　別館１階
電話0997-52-9388　　FAX0997-52-9502

新例会場（３月より）：ホテル　サンデイズ奄美
〒894-0033　鹿児島県奄美市名瀬矢之脇町30-1　電話　0997-53-5151

2022-23年度　地区ロータリー学友会　年次総会報告

2022年12月4日（日）、都城市地区事務所にて2022-23年度地区ロータリー学友会年次総会を開催いたしました。４回目の年次総会を迎え、会員の結束と希望が見えた総会になりました。リアルな「日本ロータリー学友会全国総会」に参加し、当ロータリー学友会の進み方を少し肌で感じることができ、今後の活動への参考になりました。

参加者４名の感想文にも角度を変えてみてきた様子が伺え、会員の充実を図り、やる気のある会員でロータリー学友会活動を広げていこうとする意欲がみられました。参加者の皆様に総会の所感をいただきましたが、下半期と次年度への計画に期待したいと思います。

また、今回初めてロータリー学友会の会計が提示され、あわせて次年度の役員理事も決定いたしました。

最後に次年度青少年奉仕部門へのロータリー学友会会員の参加をお願いしましたが、委員会で出来得る活動を支援する所存ですので今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

地区ロータリー学友委員会　委員長　岩澤　浩二

2022-2023ロータリー奉仕デー 海岸美化プロジェクト

2022年12月17日開催。RID2730ロータリー奉仕デー　海岸美化プロジェクトⅠ【RID2800地区＆RID2730地区コラボレーションコロキューム】を地区社会奉仕委員会主催で行った。場所は鹿児島大学稲盛会館キミ＆ケサメモリアルホール。基調講演はNPO法人パートナーシップオフィス金子博副理事長（山形県酒田市）「地球的環境問題の中での海洋プラスチックごみ問題の現状と課題」を拝聴。またRID2800地区大滝正博ガバナー補佐にパネリストとしてお越し頂きコロキュームを実施。山形県の海ごみ問題を通し日本全体でこの海ごみ問題を共有しなければならないことを認識。ただ、プラスチック製品を減らすことだけではプラスチックごみは減らないということ。社会問題として多方面での考察が同時に行われながら、少しづつごみは減る可能性があることも分かった。何よりもインターアクト高校生の意見も新鮮だった。もっと若い世代にこの環境問題に対する興味関心を持ってもらえるよう私達はもっと問題定義を出していかねばならないと分かった。ロータリーとして、拾う海ごみから調べる海ごみを経ながらこれを社会問題に変えなければならないなど真剣に討議。大変有意義な時間となった。この模様はhttps://www.youtube.com/watch?v=XJFe1YUiKDIで拝聴できる。

地区社会奉仕委員会　副委員長　勢井 由美子

クラブ活動報告

鹿児島ロータリークラブ

地区補助金事業
「子どもの未来を考えるプロジェクト」

今年度は、「鹿児島市子ども未来局への支援」と「児童養護施設へ生活に必要な物品を寄附」の2本立ての企画を実施いたしました。鹿児島市は「こどもの貧困率」が高く、多くのこどもが貧困状態にあります。この現状と課題を踏まえ、鹿児島市こども未来局の取り組みに対して支援を行うことといたしました。令和4年9月2日（金）に鹿児島市与次郎にある“りぼんかん”にて寄贈式を挙行いたしました。寄贈式には市長の下鶴隆央様にもご参加いただき、大型絵本や知育玩具を手に取って見ていただきました。また、早速、りぼんかん職員の方に絵本の時間に大型絵本を地域の子どもたちに読んでいただき、子どもたちは楽しそうに絵本朗読を聞いていました。

寄贈品と寄贈理由は以下のとおりです。

（1）施設用ベビーカー

市役所には、子育てに関する相談や手続きのほか、マイナンバーカードの申請などで乳幼児を連れて来所する方々も多いと思われるので、保護者の方が安心して気軽に来所できるよう活用してほしい。

（2）玩具・知育用品

子育て真っ最中の親と子が、玩具・知育用品で一緒に遊んだり、物語に親しんだりするふれあいの時間を持ってもらうことで子どもたちの健やかな成長に役立ててもらいたい。

また、昨年度と同じく、養護施設の仁風学園には令和4年12月23日（金）に「児童養護施設へ生活に必要な物品を寄附」いたしました。当クラブ会員が心を込めたメッセージカードを添えてお贈りいたしました。仁風学園の児童はこのメッセージ付きのクリスマスプレゼントを大変心待ちにしており、子どもたちのうれしそうな顔がとても印象的でした。

鹿児島ロータリークラブ　社会奉仕委員長　名島　博

クラブ活動報告

鹿児島サザンウインドロータリークラブ

地域のイベントに特別協賛団体で参加

2022年11月26日（土）、27日（日）当クラブが「特別協賛団体」として支援を行う「WAQ×WAQ Square（わくわくスクエア）」が天文館ベルグ広場で開催されました。県内14ヵ所の障害者施設からの出品販売があり、多くの人が来場されました。（売上も昨年対比14%増）

当クラブのブースでは、活動名を「くるっどな(recycle donation)・うまかどな(umaka donation)」と名付け、児童養護施設や子ども食堂に活用していただくための多くのリサイクル品や調味料の寄贈品を集めることができました。

このイベント全体の責任者でもあり、当クラブの会長水流氏によると約50年前、県精神薄弱者愛護協会が県内の精神薄弱児者（当時の用語）の『ぼくにもできる作品展』として開催したのが始まりで当時は障害児が創作した絵画や工作品を展示のみしていたそうですが、その後障害者施設で生産活動を行う施設が増えてきたため、作品展示だけではなく商品の販売も開催するようになったとのこと。イベントの目標は「障害の有る無しにかかわらず、誰もがお互いを尊重しながら共に生きていける『共生社会』を実現すること」その為には、接点を作る必要があり障害者施設の作品展示即売会であることはあえて前面に出さず、趣向を凝らしたイベントにすることで先入観を持たずに訪れた人が障害者の方々の作品や商品であることに後で気づくことにより、障害者と地域社会の人々が自然な形で触れ合えることを目指しており、盛況の内に終了しました。当クラブでも森奉仕委員長のもと32名の会員が参加した両日でした。（公共イメージ委員会）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
vol. 274
2023年1月13日
発行

1. 2人目の紺綬褒章受章者が誕生

国際ロータリー第2750地区（東京都）東京中央ＲＣ会員の大津 穣氏が、ロータリー米山記念奨学会への寄付により、昨年9月27日に紺綬褒章飾版を受章され、12月15日の同クラブ例会にて褒章伝達式が行われました。

当会では2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けて以来、大津氏が2人目の受章者です。紺綬褒章は、公益のために私財を寄付した者に与えられ、飾版は、すでに褒章を受章した者が同種の褒章を受章した場合に授与されます。大津氏は他団体への寄付を含め、自身2度目の受章となります。褒章伝達式当日は、お祝いに駆けつけた同地区の三浦眞一理事、柳田一行米山記念奨学委員長がご臨席のもと、当会の相澤光春副理事長から褒章が伝達されました。

大津氏は、「紺綬褒章の受章を大変嬉しく思います。今後のロータリーの発展と、米山記念奨学事業が目指す、世界平和の実現のために力になれるように努めてまいります」と述べ、会員の皆さまから温かい拍手が送られました。

褒章を受け取った大津氏(中央)

2. 寄付金速報 ― 下期普通寄付のお願い ―

前年同期比

＋7.4%

普 －1.1%　特 ＋10.6%

12月までの寄付金は前年同期と比べて7.4％増（普通寄付金:1.1％減、特別寄付金：10.6％増）、約6,300万円の増加となりました。12月単月の特別寄付金においては前年より2,600万円増となり、2009年度以降で最多の寄付額となりました。高額寄付の件数も多く、皆さまからのご支援に深く感謝申し上げます。1月中旬には「2022年度下期普通寄付金のお願い」を当会から各クラブへお送りする予定です。年初早々からのお願いとなり、大変恐縮ではございますが、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

3. 次期地区米山奨学委員長セミナー開催報告

12月7日、2023-24年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを、感染対策を徹底した都内会場で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、神野重行常務理事の講話から始まり、寄付、学務関連について事務局から説明。滝澤功治副理事長からは、学友会に関する規程についてご説明いただきました。

午後の部では、事務局から広報関連、来年8月開催予定の「再会 in 関東」について紹介。事例発表として、大久保章宏理事から、今や第2800地区（山形）の地区大会シーズン恒例行事となった「米山ナイト」の取り組みについてご紹介いただきました。同じく事例発表として、第2700地区（福岡・長崎・佐賀）の吉田廣幸次期米山委員長から、同地区の寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。その後、4グループに分かれて「寄付増進について」、「指定校選定と奨学生選考について」、「学友・学友会について」、「奨学生の選考と危機管理について」などをテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原實常務理事の講評で締めくくられました。

4. 台湾米山学友会が総会を開催

12 月 10 日、台湾米山学友会の年次大会が台北市内で開催され、同時にオンラインでもライブ配信されました。3 年ぶりに国外からの会場参加が可能となった今回、台湾在住学友とロータリアン、そして、同学友会が支援する日本人奨学生のほか、日本からも多くの参加者が現地に集まりました。

総会は、林志昇（リンシショウ）理事長（1992-94／津ＲＣ）の開会の挨拶で幕を開け、韓国米山学友会の全炳台（ジョンビョンテ）会長（1980-83／仙台北ＲＣ）、当会からは、滝澤功治副理事長が出席し、日ごろからの積極的な支援活動への感謝を述べました。また、同学友会は独自で現地日本人奨学生を長く支援しており、会場参加した奨学生 5 人が流ちょうな中国語で自己紹介を行い、温かい拍手が送られました。久々の対面での総会で、改めて米山のつながりを確認することができた同学友会は今年、節目の創立 40 周年を迎えます。

5. ウクライナから避難した学友 ―母校が受け入れ―

ウクライナ出身の米山学友、コベリャンスカ・オクサーナさん（1998-99／奈良ＲＣ）が 12 月 15 日、自身の世話クラブであった奈良ＲＣの例会にて卓話を行いました。オクサーナさんは、ウクライナの情勢悪化を機に、母国からの避難を余儀なくされ、米山奨学生時代に自身の留学先であった天理大学と天理市のサポートにより来日。2022 年 4 月から、同大学の職員として勤務しています。オクサーナさんによる、スピーチの冒頭の一部をご紹介いたします。

「私は 1995 年に天理大学に留学し、98 年に奈良ＲＣの米山奨学生になりました。当時のウクライナは旧ソビエト連邦から独立し、経済や政治体制の構築を始めたばかりで、国家的に大変な時期でした。来日後も、両親からの支援は望めず、生活費を稼ぐので精一杯でした。米山奨学生になれたことは、勉学に集中できることを意味し、とてもありがたかったです。最初に参加した例会で、奈良ＲＣの会長が『この奨学金は、学生を支援するためのものです。勉強する時間を確保するためのものです。そして帰国後は日本に関連した活動を続けてほしい。それぞれの国で、日本語や日本文化を広め、自国との国際関係を促進することを望んでいます。これが、私たちの未来への貢献です。それを忘れないでください』と、仰いました。この言葉は今でもはっきりと覚えています。初めて奨学金をもらったとき、喜びだけでなく、自分の中で責任感と覚悟を感じました。会長の言葉の通り、私はこれまでに、約30の研究論文、4冊の辞書、2 冊の日本語・日本文化学習者向けの教科書を出版するなど、人生の大半を日本と関わりながら過ごしてきました。今回、このようなご支援をいただいた、母校の天理大学と天理市、そして日本の皆さまに心から感謝の気持ちを申し上げます。ロータリー米山記念奨学会の事業は、日本語や日本文化を世界に広めるためにとても重要な活動であることをお伝えしたいと思います。米山の繁栄と、多くの感謝の気持ちを持った学生たちが、それぞれの国で日本との国際関係を強化するために活動を続けてくれることを祈念します」。

卓話を行うオクサーナさん

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・長尾(ながお)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会　22-23年度　寄付金の傾向

12月の寄付金傾向

12月分合計額　197,995,308円
累計額　911,071,627円（前年同期比 6,290万円増）

参考　前年度12月分合計額：172,418,627円　累計額：848,144,664円

普通寄付金

12月当月　6,580,100円
12月末累計　228,482,931円

（前年度比 1.11%減）
（　〃　260万円減）
（予算達成率 55.7%）

普通寄付金上期分は1,976クラブ（89%）からご納入いただきました。（昨年度は2,001クラブ）19地区が納入割合90%を超えました。皆さまからのご寄付に感謝申し上げます。ご案内が遅れましたが、2023年も引き続き下期分のご送金もよろしくお願いいたします。

★普通寄付金納入状況・上期分（納入数/クラブ数）

地区	納入数/クラブ数	納入割合	地区	納入数/クラブ数	納入割合
2500	52/66	79%	2610	56/64	88%
2510	56/69	81%	2620	62/74	84%
2520	54/78	69%	2630	71/73	97%
2530	55/63	87%	2750	79/89	89%
2540	24/40	60%	2760	80/84	95%
2550	36/48	75%	2780	63/66	95%
2560	53/54	98%	2640	59/65	91%
2570	48/50	96%	2650	89/96	93%
2770	65/74	88%	2660	73/79	92%
2790	76/82	93%	2670	65/74	88%
2800	45/49	92%	2680	68/70	97%
2820	51/55	93%	2690	62/65	95%
2830	36/40	90%	2700	57/60	95%
2840	44/45	98%	2710	71/72	99%
2580	62/70	89%	2720	61/74	82%
2590	51/52	98%	2730	57/68	84%
2600	49/53	92%	2740	46/55	84%

合計：納入数 1,976RC
全地区ロータリークラブ数　2,216RC
普通寄付納入実績 12 月 31 日現在、当会入金分

特別寄付金

12月当月　191,415,208円
12月末累計　682,588,696円

（前年度比 10.61%増）
（　〃　6,550万円増）
（予算達成率　78.5%）

12月末累計額は前年同期比10.61%増、約6,550万円の増加となりました。単月比でも1億9千万円の大台に乗ったのは2009年度以降では初めてで好調のまま2022年を終えることができました。ロータリアンの皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。まだコロナも安心できる状況ではありませんが、引き続き2023年もご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

★ガバナー公式訪問

D2760　名古屋大須RC　10万円

★創立記念寄付

（単位：万円）

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2790	新千葉	50	2670	中野	10
2600	丸子	40	合計	3クラブ	100

★高額寄付者（一度に100万円以上の寄付）

D2620　甲府RC　野口英一氏 100万円　累計501万円
D2760　知立RC　安井喜秀氏 200万円　累計337万円
D2760　知立RC　大橋 均氏　200万円　累計400万円
D2660　大阪中央RC　笹木秀雄氏 100万円　累計615万円
D2660　大阪鶴見北RC　発　剛士氏 100万円　累計600万円

★高額寄付法人（一度に100万円以上の寄付）

D2660 大阪RC　（株）イムラ封筒
100万円　累計100万円　井村 達男氏

D2720 熊本グリーンRC　（株）エコマテリアル
200万円　累計400万円　千葉鴻儀氏

★地区大会

D2540 120万円　D2550 20万円　D2780 10万円

●会員数動向(1月)

クラブ名		期首会員数 (2022/7/1)	12月 会員数	12月 女性	7/1基準 会員数増減	MY ROTARY 登録率1/16現在
宮崎県北部	延岡	71	76	8	5	21.05
	日向	20	17	1	△ 3	82.35
	延岡東	55	58	7	3	56.14
	日向東	20	22	2	2	90.91
	延岡中央	52	52	3	0	17.31
	日向中央	11	11	1	0	27.27
	門川	7	7	0	0	37.50
	計(7RC)	236	243	22	7	47.50
宮崎県中部	宮崎	98	101	5	3	57.43
	宮崎西	88	99	7	11	41.41
	宮崎北	82	85	14	3	41.18
	宮崎南	51	52	3	1	42.31
	高鍋	41	42	3	1	23.36
	西都	17	17	2	0	23.53
	宮崎中央	50	50	4	0	100.00
	佐土原	23	25	2	2	12.00
	宮崎東	32	31	2	△ 1	38.71
	宮崎アカデミー	35	37	6	2	90.00
	計(10RC)	517	539	48	22	46.99
宮崎県西部	都城	52	53	8	1	17.31
	小林	30	29	4	△ 1	23.33
	都城北	41	44	4	3	72.73
	えびの	9	9	2	0	55.56
	都城西	43	38	6	△ 5	30.23
	小林中央	10	9	0	△ 1	20.00
	都城中央	23	25	4	2	64.00
	2730ジャパンカレント	16	16	5	0	93.75
	計(8RC)	224	223	33	△ 1	47.11
宮崎県南部	日南	28	29	2	1	17.24
	日南中央	13	13	3	0	15.38
	串間	9	8	0	△ 1	11.11
	計(3RC)	50	50	5	0	14.58
鹿児島県北部	川内	58	59	0	1	13.56
	串木野	22	22	5	0	13.64
	出水	41	44	5	3	23.91
	阿久根	47	45	7	△ 2	28.89
	大口	29	28	1	△ 1	27.59
	薩摩川内	26	26	2	0	26.92
	宮之城	10	10	3	0	40.00
	計(7RC)	233	234	23	1	24.93

クラブ名		期首会員数 (2022/7/1)	12月 会員数	12月 女性	7/1基準 会員数増減	MY ROTARY 登録率1/16現在
鹿児島県中部	加治木	25	31	0	6	51.61
	国分	36	37	2	1	16.22
	霧島	14	14	0	0	28.57
	国分中央	33	35	3	2	17.14
	姶良	16	14	0	△ 2	6.67
	計(5RC)	124	131	5	7	24.04
鹿児島県西部	指宿	24	24	2	0	20.83
	伊集院	26	27	1	1	18.52
	加世田	18	18	1	0	33.33
	頴娃	11	10	1	△ 1	70.00
	枕崎	20	20	4	0	47.62
	計(5RC)	99	99	9	0	38.06
鹿児島市内A	鹿児島南	34	34	4	0	64.71
	鹿児島西	70	74	3	4	54.05
	鹿児島城西	25	25	3	0	56.00
	鹿児島東	22	23	6	1	56.52
	鹿児島サザンウィンド	43	44	12	1	75.56
	鹿児島令和	30	34	4	4	91.18
	計(6RC)	224	234	32	10	66.34
鹿児島市内B	鹿児島	67	72	10	5	20.83
	鹿児島東南	24	26	0	2	13.64
	鹿児島中央	53	53	4	0	18.87
	鹿児島西南	11	11	1	0	18.18
	鹿児島北	22	22	1	0	27.27
	鹿児島大学アカデミー	33	38	9	5	81.58
	計(6RC)	210	222	25	12	30.06
鹿児島県東部	鹿屋	52	52	6	0	38.46
	串良	25	27	3	2	25.93
	鹿屋西	43	44	7	1	56.82
	志布志	17	19	2	2	21.05
	かのや東	36	35	1	△ 1	34.29
	きもつき	17	20	0	3	25.00
	南九州大崎	26	26	2	0	30.77
	志布志みなと	37	37	4	0	35.14
	計(8RC)	253	260	25	7	33.43
奄美	奄美	45	43	5	△ 2	18.60
	奄美中央	62	63	12	1	6.35
	奄美瀬戸内	14	14	1	0	28.57
	計(3RC)	121	120	18	△ 1	17.84
総計		2,291	2,355	245	64	39.10

●入会者一覧(ご入会おめでとうございます)

12月		
会員名	クラブ名	入会日
矢北浩士	延岡	2022/12/7
佐藤修一	延岡	2022/12/7
金市武彦	宮崎西	2022/12/16
工藤登紀子	佐土原	2022/12/21

12月		
会員名	クラブ名	入会日
田中暁爾	鹿児島	2022/12/23
田畑亮	鹿屋	2022/12/7
山下俊也	鹿屋西	2022/12/5
伊東奈美	鹿屋西	2022/12/5

●退会者一覧(おつかれさまでした。)

12月		
会員名	クラブ名	退会日
安藤幸市	日向	2022/12/20
島田和明	宮崎北	2022/12/28
長野孝吉	高鍋	2022/12/15
久保山洋一	宮崎中央	2022/12/29
正岡文郁	佐土原	2022/12/31
平見映介	宮崎東	2022/12/26
中山忠彦	都城西	2022/12/31
高橋五男	都城西	2022/12/31
柳顕彰	都城西	2022/12/31
長友喜信	都城西	2022/12/31
天水金作	都城西	2022/12/31

12月		
会員名	クラブ名	退会日
西原口千弘	阿久根	2022/12/31
迫田辰郎	大口	2022/12/28
南郷和廣	姶良	2022/12/31
川野潤一郎	姶良	2022/12/31
森山隆治	鹿児島サザンウィンド	2022/12/15
本村嘉啓	鹿児島中央	2022/12/31
高吉博也	鹿屋	2022/12/31
東康子	鹿屋西	2022/12/31
山下雄喜	かのや東	2022/12/31
岸田国広	奄美	2022/12/22

●12月退会者一覧【名誉会員へ】

12月		
会員名	クラブ名	退会日
坂元忠雄	小林中央	2022/12/6

第一生命　鹿児島支社

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

第一生命 鹿児島支社が鹿児島県および県下の自治体と結ぶ
連携協定数が２０に達しました。
第一生命はみなさまの「一生涯のパートナー」として、
人々の安心で豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献していきます。

開聞岳

第一生命　鹿児島支社　　社会貢献活動（一例）

- ●かごしま国体　PR活動
- ●かごしま子育て支援パスポートの普及活動
- ●動物愛護の啓蒙活動
- ●高齢者むけ救急医療情報キットの提供

自治体との協定締結状況

鹿児島県

姶良市	阿久根市	奄美市
伊佐市	出水市	いちき串木野市
指宿市	霧島市	さつま町
薩摩川内市	志布志市	垂水市
知名町	徳之島町	西之表市
日置市	枕崎市	南大隅町
和泊町		

連携協定の推進

連携協定に基づき各自治体と協働によって、「地域の一層の活性化」と「県民のサービス向上」を目指しています。今後も新たな自治体との協定を進めて参ります。

第一生命保険株式会社

鹿児島支社　〒892-0847
鹿児島市西千石町1-1 西千石第一生命ビル8F
TEL050-3781-0570